

行田のお寺を訪ねて

第5回

当社スタッフの櫛引浩士が、市内のお寺を訪問し、毎月御紹介する連載です。

お寺や御住職を、もっと身近に感じて頂ければと考えております。

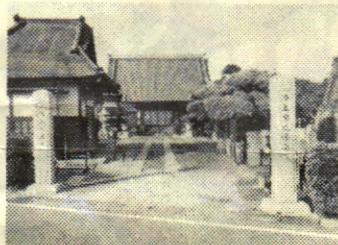
けい がん じ

淨土宗
龍澤山 普門院

慶 岩 寺

行田市酒巻1862
048-551-0735

→ 慶岩寺山門



今回は酒巻の慶岩寺を御紹介します。

天 正十年(1582年)炭誉上人によって開山される。かつては利根川沿い(今の酒巻利根グランド付近)にあったが、大正2年~4年に及ぶ利根川河川改修の際、付近にあって廃寺となった常照寺の跡に移転し、現在に至ります。

一遍が在世中(1287年)に造られた踊念佛板碑が寺宝としてあります。また、幕末~明治維新の偉人である山岡鉄舟の書いた名号額、院号額が残されてあって、かつてこの地が上州(群馬)と武州(埼玉)を結ぶ利根川の舟宿場で栄えていたことを偲ぶことができます。



← 山岡鉄舟 肖像

→ 慶岩寺本堂



現 住の廣譽上人の代では、常照寺時代の真言宗仏像を含めた仏像・寺宝の修復、本尊額の制作、本堂の冷暖房完備、墓地の区画整地など近代化が進められています。

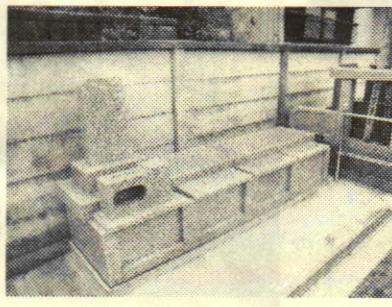
そ して、今年に入り境内に「ぴんころ地蔵」(通称: PPK地蔵)を落成。やさしく微笑みながら、頬に右手を添えた愛らしい姿のお地蔵様。健康で天寿を全うする意味の「健康で長生きし(ぴんぴん)、寝込まずに楽に大往生する(ころり)」から命名され、人の一生の理想がこの御地蔵様に掲げられています。

ま た、現在増えつつある少子高齢化や、「おひとりさま」に対応した小規模な墓地完成。後継ぎがない夫婦のみの墓地にも対応。長く勤め人の経験もした現在の住職は、時代や環境の変化にも柔軟に対応し、地域の人たちの為に日々邁進しております。(記事: 櫛引浩士)



↑ 落成したPPK地蔵

(ぴんぴんころり地蔵)



↑ 小規模区画墓地の一例

